

平成24年度第2回海老名市介護保険運営協議会 会議結果

日 時：平成24年8月21日（火）
午後1時30分～午後2時30分
場 所：海老名市役所 政策審議室

出席者

別添名簿のとおり

1. 開 会 （進行:長田参事兼高齢介護課長）

2. あいさつ

清田次長

田中会長

3. 議 題(議長:田中会長)

(1)平成23年度介護保険実施状況について

『資料1』により事務局説明

P1～7 介護保険係長 内田

P8～9 高齢者支援係長 萩原

委 員：高齢者プラン 21 を見ると、貯筋体操が H23 年度実績値(141 回)より、H24 年度計画値(100 回)が減少している。計画回数が減ってしまったのか？

事務局：あくまでも計画における数値です。

委 員：内容はどこで決めているのか。

事務局：高齢介護課と健康づくり課等の保健師で事業内容を検討し決定している。

委 員：参加者から昨年と今年の内容が全然違い昨年までのほうが良かったとの話を聞いています。内容について参加者にアンケートなどはしていないのか？人気がある教室なので回数が減ってしまうと残念。

事務局：昨年度のほうが少しハードな内容もあったことは認識している。

参加希望者も多く人気がある教室なので、初心者など誰もが受講できる内容をと考えている。アンケートは実施していないが、個々にご意見をいただいている。

(=ハードなコースを希望する方(常連の方)にはサークルなどを作って活動して欲しいとの事務局の考えをふまえた回答)

委 員：人気があるのであれば、抽選に漏れた方は次回に優先して受けられるようにしてあげているのであればよいと思う。

委員：認知症サポーターとはどういう人達になるのか？

事務局：市では、認知症を正しく理解し認知症の方やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」の養成を行っています。

認知症サポーターは年齢性別を問わず、市等で開催するサポーター養成講座を受講していただいた方になります。

委員：認知症サポーター養成講座は今年海老名市で開催されますか？

事務局：昨年度は一般市民向けに2回、各団体を対象に5回開催しました。今年度も市民を対象に1月頃開催する予定です。今後の開催については、日程等が決まりしだい広報等でお知らせする予定です。

なお、今年度は団体や企業からの依頼を受け既に5回開催しました。

委員：介護保険料の「未納」とはということか？

事務局：介護保険料は、年金からの天引きが原則だが、納付書で支払っていただく普通徴収の場合、強制的に徴収することが技術上困難であるため、どうしても「未納」が発生してしまいます。

(2) 介護保険施設等事業者の選定結果について

委員：(株)ジャパンケアサービスは夜間対応型サービス等を行っているようだが、海老名市でも行ってくれるのか。

事務局：実績はあり、海老名市においても実施したい希望もあると聞いているので、将来的に実施することができるのではないかと。

今回はあくまでも、第5期計画におけるグループホーム整備の事業者の選定です。

委員：今後、実施することが可能かどうか市として確認をしてくれないのか。

事務局：グループホーム整備事業者としての選定であり、将来的な確認を行うものではありません。

また、第5期プランにおいても夜間対応型サービス等の明確な位置づけはない。

委員：訪問介護事業所はグループホームに併設されるのか。

事務局：併設の計画がなされている。

委員：夜間訪問介護は海老名市に現在ないので、期待をしてしまう。

市として事業者を実施してもらおうよう依頼はできないのか。

事務局：今回の選定理由には「夜間訪問介護等ができる」という理由で選定したものではありません。

今後、プランの見直しや第6期プランにおいて、事業展開も見込まれる事業者であると考えています。

委員：選定の基準はグループホームの事業者としての総合的な判断であり、夜間訪問ができるからという理由で選定したわけではない。

(3)その他

事務局：次回会議は10月以降に開催予定です。
改めて連絡をさせていただきます。

7. 閉会（山川副会長）